

協会けんぽ 茨城支部  
平成29年度第2回 健康づくり推進協議会

参考資料

(参考)平成30年度全国健康保険協会事業計画(案)

# 平成30年度 本部の事業計画案

## 平成30年度の協会けんぽ運営の基本方針（抜粋）

平成30年度は、地域医療構想を盛り込んだ新たな医療計画や医療費適正化計画、国民健康保険の都道府県化等が一斉にスタートするとともに、**協会けんぽにおいても保険者機能強化アクションプラン（第4期）や第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）をスタートさせる大きな節目の年**となる。

こうした状況も踏まえ、平成30年度の協会運営の基本方針は以下のとおりとする。

～中略～

戦略的保険者機能の発揮をより確実なものとするため、地域医療構想の実現に向けて、地域医療構想調整会議等において客観的データ（エビデンス）に基づく効果的な意見発信を行う。また、保険者機能強化アクションプラン（第4期）、第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）に基づく取組を着実に実施するとともに、ビックデータの活用やPHR（個人健康記録）などの導入に向けて、将来を見据えた戦略的な対応を検討する。

# 平成30年度 本部の事業計画案

## ①ビックデータを活用した個人・事業所単位での健康・医療データの提供

- ・事業所単位での健康・医療データの提供については、ヘルスケア通信簿などの見える化ツールの標準化のため検討を行うとともに、健康宣言事業の基準の標準化に向けて、有識者を交えた検討会を実施する。
- ・個人単位の健康・医療データの提供については、国における検討状況も踏まえながら、保険者として先行実施が可能な部分がないかなど、戦略的な検討を行う。

## ②データ分析に基づいた第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）の着実な実施

- ・「特定健診・特定保健指導の推進」、「コラボヘルスの取組」、「重症化予防の対策」を基本的な実施事項とする**第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）に基づく取組を着実に実施するため、好事例を全国展開するなど、本部と支部間の連携を図る。**また、支部ごとの加入者の健康・医療データをまとめた支部別スコアリングレポートを導入する。

### i) 特定健診受診率・事業者健診データ取得率の向上

- ・特定健診受診率等が低迷している支部の底上げを図るための調査研究を行い、その結果を踏まえ、ボトルネックの類型に応じた対応方針を策定する。また、事業者健診データの取得促進に向けて、都道府県労働局との連携など、国に対する働きかけを行う。

# 平成30年度 本部の事業計画案

## ii) 特定保健指導の実施率の向上及び平成30年度からの見直しへの対応

・平成30年度からの制度見直しを契機とし、「健診当日に初回面談の分割実施」ができるよう健診実施機関へ強かに働きかける。加えて、平成30年度からの特定保健指導の実施方法の見直しを契機として、新たな特定保健指導の手法の検討など、これまでの延長線上にない対策を検討する。

## iii) 重症化予防対策の推進

・未治療者に対する重症化予防については、医療機関受診率をより高めていくべく、支部独自の取組を強化し、好事例の全国展開を図る。糖尿病の重症化予防については、かかりつけ医と連携した取組を全支部で実施し、人工透析間近の者については、糖尿病の専門医と連携した生活指導プログラムの導入を進めていく。

## iv) 健康経営（コラボヘルスの推進）

・健康宣言事業所数の更なる拡大を図るとともに、取組の質を向上させる観点から、宣言事業所に対するフォローアップを強化し、事業所ごとの健康度の改善度合いをデータとして提供する。

・事業所単位での健康・医療データの提供については、ヘルスケア通信簿などの見える化ツールの標準化のための検討を行うとともに、健康宣言事業の基準の標準化に向けて、有識者を交えた検討会を実施する。【再掲】